



竹松ものがたり

やさしく かしこく たくましく

令和6年3月8日
大村市立竹松小学校
発行 石司 貴弘

6年生のみなさんに伝えたいこと…

3月…別れの時が近づいてきます。5年生のみなさんが中心となって「お別れ集会」を企画し、それぞれの学年が6年生の卒業を祝う出し物を発表し、感謝とお祝いの気持ちを伝えました。

「ありがとう！」

「いつもやさしかった」

「いろんなことを教えてくれた」

「運動会ではかっこよかった」

「いつも掃除をがんばっていた」

「けがをしたとき、保健室に連れて行ってくれた」

「委員会の仕事を教えてくれた」

各学年の出し物をありがとうございました。どの学年の出し物もとてもすばらしかったです。6年生のみなさんが、このお別れ集会を「楽しかった」と思ってくれたら、大成功だと思います。

6年生には、遠足や運動会などの学校行事で、たくさんお世話になりました。また、始業式や終業式では早くから静かにきれいに並んだり、きちんとした姿勢で話を聞いたりなど、1年生から5年生の人にお手本を見せてくれました。何でも、当たり前のように正しく行う6年生がかっこよかったです。このような6年生の姿をお手本にして、これからは私たち5年生が下級生を引っ張っていきます。また、竹松小学校をより楽しく明るい学校にしていきます。

6年生のみなさん、ありがとうございました。

5年 松野わか

<6年生への感謝のことば>

<在校生代表のことば>

これらの言葉を見ると、最高学年とはどういう立場なのか、下級生をふくめて周りの人たちからどのように見られているのかがよくわかります。6年生が意識していなくても、6年生が「言うこと」「すること」は下級生にとってはモデルであり、手本となっているのです。

◎6年生の善い行いを見ると「かっこいいなあ」「自分もあになりたいなあ」と、憧れを抱き目標にしてまねをします。すると、善い行いが下級生に広がることになります。

△もし、6年生が善くない行いをすると「上級生がするんだから、自分たちもやっていいんだ」と善くないことをすることに、ブレーキがなくなります。

どちらにしても、6年生の姿が下級生に与える影響はとても大きいのです。竹松小学校の6年生は、良い手本をたくさん示して良い手本をたくさん示しました。だから、お別れ集会で上のようなことばがたくさん出てきたのです。

あらためて、6年生のみなさん、ありがとう。



三世代ポッチャ大会

～ 竹松小学校区健全育成協議会主催事業 ～



2月18日(日曜日)、竹松小学校体育館にたくさんの児童のみなさん、ご家族のみなさんが集まりました。長崎県ポッチャ協会の会長さんのご指導により、熱い戦いが繰り広げられました。

赤と青の2チームに分かれ、最終的にジャックボールと言われる白いボールに、どれだけ自分の玉を近づけられるかというゲームです。投げ方によって、転がり方や止まり方が変わるので、体力だけでなくボールをコントロールする調整力や、戦略を考える力が必要な高度なゲームです。体育館に大きな歓声が響く楽しい一日になりました。

お世話をいただいた健全育成協議会のみな様に心からのお礼を申し上げます。ありがとうございました。

非行・事故防止(明るい家庭づくり)ポスター展

竹松小学校の子供たちが、自分の願いをポスターで表現しています。今回は一部のみの紹介となりましたが、子供たちはそれぞれによりよく生活することに自分なりの思いを持っていることがわかります。子供たちの思いに応えられるよう、大人みんなで頑張らねば…と思うこの頃です。

